



## 急性アルコール中毒

私の息子が学生時代都内で飲み過ぎて、一晚入院しました。旧友と久しぶりに会って舞い上がったようです。

急性アルコール中毒は12月、1月にやや多いものの、年間を通じて一定数起こっています。一気飲みのあと意識がなくなり、放置されて亡くなった学生の親が訴える事件もありました。お酒を強要するのは言語道断です。しかし中には勝手に飲みつづれる人もおり、同席者の見守りが大切といえます。私の息子は良い友人に恵まれたようです。



病院長 野坂 俊壽



## 連載インタビュー 第9回

今回は、放射線科

林 孝行 医師です。

### Q. 先生のご出身は？

福岡県の直方市です。今は亡き高倉健が、若かりし頃に活躍した東映任侠映画でよく出てくる炭坑町です。

### Q. 放射線科の医師とは？

直接患者さんに接する機会が少ないため、病院で何をしているのだろうと思う方も多いかと思います。通常はCTやMRI画像などの読影診断業務を行っています。また、撮影される写真の条件の指示出しや、他院の写真の読影なども行っています。このように、放射線科で取り扱われる患者さんの画像という媒体を介して、病院内の各科との連携を密に保つことが放射線科医の重要な業務だと考えています。時に、肝臓癌の経カテーテル的治療や出血時の止血術など観血的な治療では、患者さんと直接かかわりをもった仕事もしています。

### Q. 医師になろうと思ったきっかけは？

幼い頃、シュバイツアーの伝記を読んで、人の役に立つ医者になりたいと思っていましたが、理系が苦手なため、かつ浪人はしたくなかったため文系の大学に進学し、卒業後は実家の米屋を継ぎました。

朝晩は御用聞き、昼間は精米作業と配達を日々の仕事として4年間働きました。この間、うまい米は「はやし米」という自家精米した米を売り出し、ガス主任技術者や液化石油ガス設備士などの免許も取得し、ガス配管工事などにも直接従事しました。これらが功を奏し、売上也倍増し支店やガス会社も新たに立ち上げることができました。順風満帆に思えたのですが、幼い頃の夢が忘れられず、医学部受験を一度も挑戦しないまま諦めると一生後悔が残ると思ったからです。一年の猶予をもらい再び受験勉強する機会を得ました。一度受験し、だめなら、さらに本腰をいれて米屋に邁進できると考えたからです。しかし、幸か不幸か、医学部に入学することができました。これにより、現在の私があります。

### Q. 放射線科を選択したのはなぜですか？

元々は、無医村で働きたく、全科診られる医者になりたいと思っていましたが、実際に働いてみると、高度に細分化された医療制度においては、専門性がなければ、逆に患者さんに信用されないということに気づかされました。そこで、最初は消化器科医を目指し内視鏡、超音波、X線透視、血管造影などの修練を積んでいるうちに、血管造影の奥の深さにはまり、これをさらに追求したく研鑽を積んでいるうちに、血管造影を本職にしている放射線科に足を踏み入れたことから現在に至っています。



### Q. お休みの日は何をしていますか？

家に帰ると、私のことを甘い馬鹿親父と知って足下にまとわりついて離れない11歳のドラ息子（ウサギ）と遊んでいます。週に一度は親の家に行き、一緒にご飯を食べています。また、ベランダの小さな家庭菜園では、バラやトマトなどを育てています。

### Q. 1日頑張った自分へのご褒美って！

特にはありません。毎日、つつがなく終わったことへの感謝ができれば幸いです。

### Q. 患者さんへ一言お願いします！

当院放射線科では、安心して検査を受けてもらえるよう、無駄なX線被曝を極力避け、細心の注意を払いながら、低侵襲で正確な診断ができるよう心掛けています。ご不明な点などございましたらお気軽に放射線科までお声かけください。



## 林 孝行 (はやし たかゆき) 放射線科

### プロフィール

獨協医科大学医学部卒業。現在は奈良県立医科大学放射線科医局に所属。平成24年4月に国立がん研究センター東病院から、当院の放射線科長として着任。



今回は『C型肝炎』についてです。  
今までC型肝炎の治療は、注射によるインターフェロンなどの投与が主流でした。しかし、最近飲み薬による新薬が登場し、C型肝炎の治療が急速に進歩しました。今回は最新の治療方法も含め、C型肝炎について消化器内科の酒井副院長にお話を伺いました。



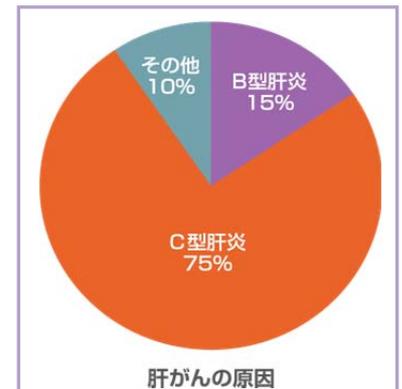
## Q. C型肝炎とは？

肝臓は、生命維持の重要な働きをする人体最大の臓器です。重さは成人で1.2~1.5kgあり、右脇腹の肋骨の内側に位置しています。

C型肝炎とは、C型肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。C型肝炎ウイルスに感染すると約70%の方が持続感染者となり、慢性肝炎、肝硬変、肝がんと進行する場合があります。

## Q. C型肝炎の現状

現在日本では、約150万~200万人のC型肝炎ウイルス感染者がいると考えられています。しかし、医療機関で何らかの治療を受けている人は50万人にすぎません。慢性肝炎、肝硬変、肝がん患者の約75%がC型肝炎ウイルス感染者であり、年間約3万人が肝がんにより亡くなっています。肝臓は沈黙の臓器と言われますが、C型肝炎も慢性肝炎の段階ではほとんどの場合自覚症状がありません。肝硬変に進行したり、肝がんができて症状が出ない患者さんもいるので、健康診断などの機会にきちんと検査をしていくことが重要です。



## Q. 最新のC型肝炎の治療法

今まではC型肝炎の治療といえばインターフェロンでした。この注射のおかげで多くの患者さんがC型肝炎ウイルスを排除でき、治癒し、肝硬変や肝臓がんにならずに助かってきました。しかし、熱が出たり体がだるくなるのはほぼ必発で、多くの副作用や、時には鬱(うつ)状態になる人まで居るかなりつらい治療でした。

しかしながらここ数年、世界中で新しい飲み薬による治療が開発され日本にも導入されつつあります。これらは経口抗ウイルス薬と呼ばれ、インターフェロンと同様に完全にウイルスを排除し、治癒させる治療で今までの飲み薬のような対症療法とは異なります。年齢、他の病気を持っているかは関係なく、副作用もほとんどありません。一番最近のものでは3ヶ月の服用で90%または95%以上の患者さんが治癒すると考えられています。

当初はとてつもなく高価で一人当たり3ヶ月の治療費が(3ヶ月で全治療が終了するのですが)1千万円とも言われていました。幸い日本に導入されるときに4割引きぐらいになり、さらに助成金制度が適応されることで全治療費の個人負担が3~6万円に(1ヶ月1~2万円)抑えられています。

## 《消化器内科から患者さんへ》

C型肝炎の治療は新しい治療が出るたびにいいことばかりが誇張され、期待しては裏切られてしまった患者さんも多いかと思えます。

世界的にも2030年ぐらいにはC型肝炎は地上から消えるのではないかと予想されるぐらい、ここ最近の飲み薬の進歩は目覚ましいものがあります。残念ながらもまだ100%治るとは言えませんし、今後例外的な副作用が出ないという保証はありませんが(世界ではすでに30万人がこの新しい飲み薬で治療を受けてきましたが)、画期的な進歩を迎えたことは確かです。今まで治療が怖かった方、治療に裏切られもうこりごりだと思っている方も是非ご相談ください。

C型肝炎ウイルスが消失すると肝硬変に進むことはありません。ただし、肝臓がんに関しての危険は大幅に減りますが、なくなるわけではありません。完治しても超音波検査等の定期検査は必要となるのでご注意ください。



# 当院の取り組み

## 〔不整脈センター〕

当院では平成27年4月に【不整脈センター】を開設しました。

「不整脈」という病気は若年から高齢者まで幅広い年代の患者さんがおり、症状も息切れや動悸といった軽度のものから失神や突然死にいたる重度のものまで多岐にわたります。

原因も分からないまま症状を放置することで日常生活に不安を感じる方も少なくないでしょう。

そういった不安を抱えている人や周囲で悩んでいる人への窓口として【不整脈センター】を運営している飯田啓太医師（循環器内科医長）にお話を伺いました。



### 不整脈とは

人間は生きている限り心臓が24時間365日休むことなく動き続けています。普通我々は心臓が動いていても、心臓がそこにあるという自覚はほとんどなく生活しています。これを多かれ少なかれ、たとえば強く打ったり、抜けたり、バラバラに感じたりといった鼓動を自覚するような状態では、著しく生活の質を下げることになります。

鼓動の異常は通常動悸と表現されることが多いのですが、それが心臓の問題、心の問題、それ以外の問題に分類されます。動悸は不安を呼び不安は動悸を増幅させるため、その原因を明らかにすること、しよとすることで改善する場合があります。



### 不整脈の治療は

よく調べた上で心臓が原因の動悸で治療対象と判断された場合、当センターで適切な内服もしくはカテーテルアブレーション、ペースメーカーといった手段を選択し、動悸症状の軽減、根治を目指し治療を行っていきます。もちろん、当院での治療が極めて困難な場合、遠方ではありますが日本の不整脈治療の最高峰でもあります東京医科歯科大学、筑波大学といった施設と連携を密にして対応していきます。

あまり難しいことは考えずに動悸がするんだけど…とご心配、お困りの方はお気軽にご相談ください。



### 不整脈センターとして

8月末から心房細動という不整脈に対するカテーテルによる治療を開始する予定です。心房細動と言えば、著名な野球選手やサッカーの監督、“平成”の文字を出したあの人もこの病気で脳梗塞になったと言われています。かの登山家は山を登るために心房細動に対するカテーテル治療を行ったと言われています。一昔前までは治らない病気であった心房細動ですが、近年条件が合えば80%程度治る病気となっています。この病気は難治性である上に進行性であります。出たり引っ込んだりしている状態からずっと出続けてしまう状態になると治りが悪くなります。内服しても心房細動が出たり引っ込んだりしている人で動悸症状が強い患者さんが主な対象であります。今後患者さん向けの講演会等も企画しておりますので是非聞きに来てください。

### 市民講座のお知らせ

平成27年9月19日（土）当院事務棟2Fにて[市民講座]を開催します。今回、「不整脈」についてお話しいただいた飯田医師が「動悸のお話」について講演予定です。詳細は、院内掲示をご覧ください。

### ボランティア活動日誌

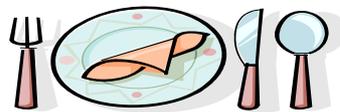
7~8月の2ヶ月にわたり、今年もボランティア実習をさせていただきました。実習生はNPO法人東葛・生と死を考える会が麗澤大学オープンカレッジで提供する「ホスピス・ボランティア養成講座」修了者です。「患者を支える会」メンバーと二人ひと組で実習に取り組んだのは17人。この猛暑と緊張で汗だくの2時間でしたが、どの顔も充実感と安堵でさわやかな笑顔に満ちておりました。多くの実習生から、病院側のボランティアに対する受け入れ態勢が大変行き届いている印象を受けたとの声が聞かれ、おかげさまでメンバーの増員もかかないました。

毎年、養成講座で「患者さんの社会的痛み」について講義を受け持ってくださいている地域医療支援センター・ソーシャルワーカーの染野さん、実習の受け入れ先の各病棟の看護師長さん、窓口として奮闘してくださっている介護福祉士の浜田さん等々、病院側の多大なご協力に感謝申し上げます。

（患者を支える会 森田）



# かし和食卓日記 ④



今回は、『かぼちゃサラダ』です。かぼちゃは、日本全国で作られています。千葉県は、2013年作況調査でみますと7位の生産量になります。種類は、大きく分けて、「日本カボチャ」「西洋カボチャ」「ペポカボチャ」の三種類があり、「日本カボチャ」と「西洋カボチャ」は夏から初秋にかけて収穫され、10日または数ヶ月ねかせ甘味を引き出してから出荷されます。貯蔵性が高いので、昔から冬至に食べる風習があります。

## 今回の地産地消メニュー

### かぼちゃサラダ (1人前)



〈材料〉 かぼちゃ 35g 胡瓜 20g 玉ねぎ 10g ベーコン 8g  
塩 0.1g ドレッシング 7g ミニトマト 1個

〈作り方〉 ①かぼちゃのワタと種を取り、小さめに切り柔らかくなるまで茹でる。②かぼちゃの荒熱が取れたら、他の材料を加えて和える。

〈エネルギー〉 137kcal 脂質：8.4g 塩分：0.6g

マッシュ状にしたい場合は、加熱後熱いうちにつぶすとなめらかになります。

〈広報委員の試食感想〉 かぼちゃがマヨネーズではなくフレンチドレッシングであえてあるので塩分とカロリーが控えめになっており、かぼちゃの甘味が引き立ちおいしかったです。ベーコンが入っているので塩気も程良くあり、味気ない感じはしませんでした。玉ねぎも歯ごたえの良いアクセントになっており、おいしく体にやさしいサラダでした。

かぼちゃを選ぶポイントは、皮の表面に艶があるもの・軸が太く切り口が良く乾燥して、コルク状になっているもの・綺麗に左右対称になっているもの・手に持った時にずっしりと重みを感じるものです。お好みに、アーモンドスライス、クルミ、レーズン、ゆで卵、ハム、クリームチーズなどを入れたり、素材の甘さを生かしてシンプルに塩・胡椒で味を付けても美味しく召し上がれます。



## NEWS



## 夏休み 1日看護体験

8月3日～12日まで「夏休み1日看護体験」を行いました。「看護」にふれ、看護の仕事を知ってもらうことを目的として、今年で9年目となるイベントになりました。今回は高校1年生から社会人まで、57名の参加がありました。

参加した方からは、「看護師は、病院だけではなく、いろいろな分野で活躍しているのがわかった。」「患者さんの食事の介助のお手伝いに行ったり、車椅子で移動のお手伝いできてよかった。」「実際の仕事は、考えていたものよりずっと奥が深いことがわかった。」「この体験を通じて、看護師になろうという気持ちが強くなった。」などの感想をいただきました。参加した方にとって夏休みの貴重な体験になったことと思います。



## 当院へお車で来院される患者さんへのお願い

当院の正面玄関前の車寄せは、患者さんやお見舞いなど一般の利用者の乗り降りだけでなく、救急の患者さんを乗せた緊急車両の搬入口にもなっております。この度、当院では正面玄関付近での交通事故を防止するため、緊急車両の停車位置と、ロータリー進入口の徐行サインの改修工事を行いました。



お車でお越しの際は、当院の敷地内の道路標示に従い、徐行運転を心がけていただきますようお願いいたします。

(総務課)

## 編集後記



前号の「かし和」発行直前、外来に通院されている患者さんから「新しい広報誌できたらお置きしておいて」とうれしいリクエストをいただきました。

またリクエストがいただけるように、今号もみなさまのお手元にお届けいたします。 染野